

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設及び廃棄物埋設施設の新規制基準適合性に関する面談」

2. 日時：令和3年7月27日（火）13時30分～15時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、藤原安全審査官、高梨安全審査専門職、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職、清水係員

専門検査部門

大東首席原子力専門検査官、舘内主任原子力専門検査官

核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、服部上席監視指導官

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他32名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ  
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門  
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力技術）担当

電源開発株式会社 原子燃料室 上席課長

5. 要旨

昨日実施した審査会合に関して、審査会合で指摘した事項に対する事業者の理解及び対応方針を確認した。

- ・事業者から、今後の対応方針について、以下のとおり説明があった。
  - 検査の成立性に関する事項については、設工認申請対象設備選定の整理を踏まえ検査の成立性について確認を引き続き行う。
  - 埋込金物に関し、工事記録のみで健全性を判断したものについては現品調査を行う。なお、調査等が技術的に実施できない箇所は、その理由及び当該埋込金物に係る健全性評価の結果について説明する。

- 耐震に関する事項については、地盤モデルの設定及び地下水位の設定について全体を整理して説明できるよう対応する。飛来物防護ネットに関する耐震設計、評価等の整理を引き続き行う。
- 廃棄物埋設施設の保安規定変更認可申請については、指摘事項の内容を踏まえて補足資料等を修正して説明する。

## 6. その他

### 提出資料

「条文ごとの資料提出およびヒアリングスケジュール」